

HiKOKI

取扱説明書

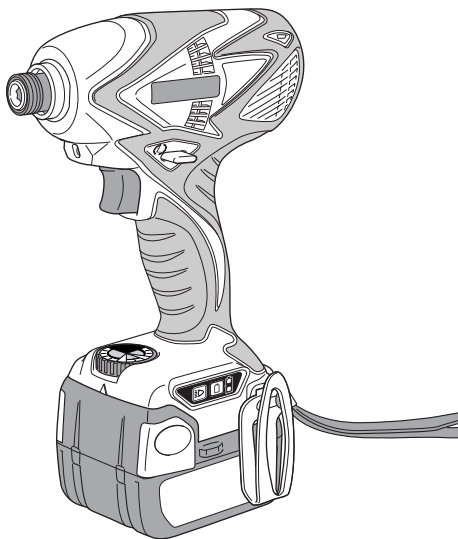
用途

- 小ねじ・木ねじ・タッピンねじ・小径ボルトなどの締付け、取りはずし
- 鉄工ドリルで金属の穴あけ、木工ドリルで木材の穴あけ

電子パルスドライバ

14.4 V WM 14DBL [無段変速] 18 V WM 18DBL [無段変速]

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



電子パルスドライバをお使いいただくうえで特別な注意が必要です。
詳しくは P.20 を参照してください。

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意…	1
本製品の使用上のご注意……………	5
USB 機器との接続時のご注意 ……	6
リチウムイオン電池の使用上のご注意…	7
各部の名称……………	9
仕様……………	11
各種先端工具のご紹介……………	14

使い方

電池残量について……………	15
LED ライトの使い方 ……………	17
フックの使い方……………	18
モード切替機能について……………	19
電子パルスドライバの特徴……………	20
ねじを締める／はずす……………	21
穴をあける……………	23
締付け作業上のご注意……………	26
蓄電池を充電する……………	27
USB 機器を充電する ……………	29
充電器使用上のご注意……………	31

その他

保守・点検……………	32
ご修理のときは……………	裏表紙

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠ 警告**」、「**⚠ 注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。
また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。

釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

⚠ 警告

- ④ 蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。
発熱・発火・破裂の恐れがあります。
- ⑤ 感電に注意してください。
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑥ 作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。
 - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用したり、放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑦ 保護メガネを使用してください。
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑧ 加工するものをしっかりと固定してください。
加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑨ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ 不意な始動は避けてください。
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑪ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑫ 蓄電池を火の中に投入しないでください。
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が 50℃ 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。**- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、誤作動して、けがの原因になります。
- コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、電子パルスドライバとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、機体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、ビットやドリルなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ④ 使用中に異常音や異常振動などの異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理を依頼してください。
- ⑤ 工具本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑥ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - ・使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - ・作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - ・使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。

⚠注意

- ① 工具類（ビットやドリルなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 騒音からの保護のため、耳栓を着用してください。
- ④ 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。

⚠ 注意

- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑥ 細径のドリルは折れやすいのでご注意ください。
飛散して、けがの原因になります。
- ⑦ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
故障の原因になります。
- ⑧ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。
誤作動等をおこす原因になります。
- ⑨ 蓄電池は確実に取付けてください。
確実でないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。
- ⑩ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑪ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑫ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

USB 機器との接続時のご注意

本製品に標準付属 (NN 仕様を除く) されている充電器には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

USB 機器を充電する際は、以下の内容を守ってください。

予期できない問題が生じた場合、接続した USB 機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。

なお、USB 機器との接続において、USB 機器の内部に保存されているデータの破損または消失および接続機器の故障については、いかなる場合においても弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様を除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
いったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - ・作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - ・作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - ・使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - ・保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品（ねじ、釘など）とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-) を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガーライターソケットに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

⚠ 警告

- ⑧ 蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑨ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑩ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱・変色・変形、その他異常に気がついたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

蓄電池はリサイクルへ.....

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

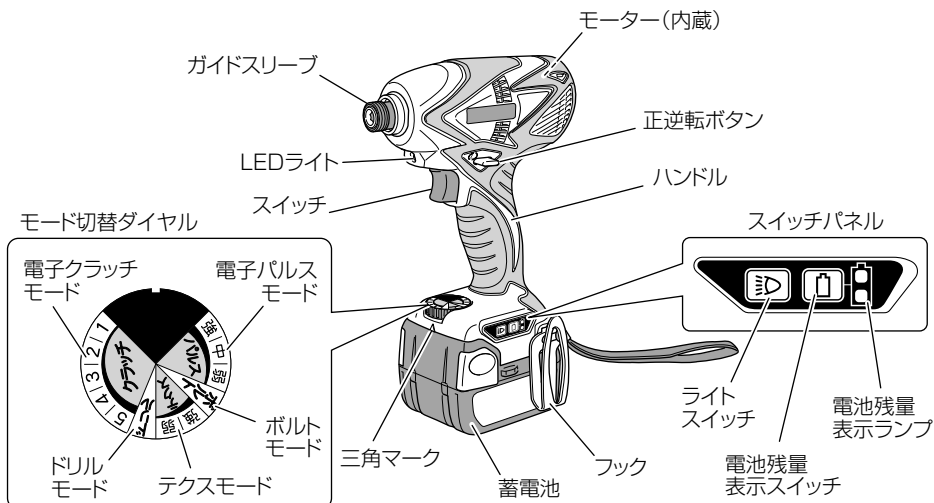


○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

各部の名称

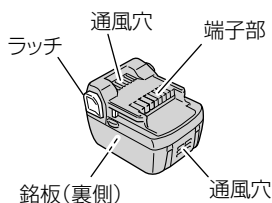
工具本体



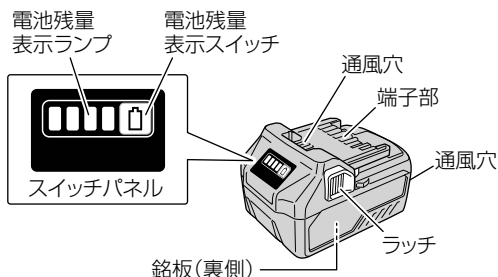
蓄電池

14.4V (BSL1460)

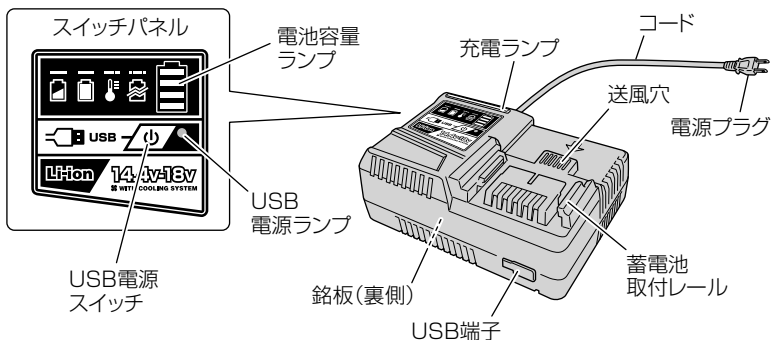
18V (BSL1860)



36V (BSL 36A18)



充電器



標準付属品

品名(形名)	工具本体仕様	WM 14DBL		WM 18DBL		
		2LYPK	NN	2LYPK	2LXPK	NN
蓄電池		BSL 1460 2 個	—	BSL 1860 2 個	BSL 36A18 2 個	—
充電器 UC18YDL		1 台	—	1 台	1 台	—
収納ケース		1 個	—	1 個	1 個	—
電池カバー		2 個	—	2 個	2 個	—

仕 様

1. 工具体

形		名	WM 14DBL		WM 18DBL	
能 力	電子パルスモード	木 ね じ	φ 4.2 × 75			
	ボルトモード	普 通 ボ ル ト	M4 ～ M10			
		高 力 ボ ル ト	M4 ～ M6			
	テクスモード	テ ク ス ね じ	φ 6			
	ドリルモード	木 工 穴 あ け	φ 21			
		鉄 工 穴 あ け	φ 10			
		モ ル タ ル 穴 あ け	φ 6			
電子クラッチモード	小 ね じ	M6				
最 大 ト ル ク [気温 20℃ 満充電時]		ボルトモード [締付け時間 3 秒]	30 N・m { 306 kgf・cm }		33 N・m { 337 kgf・cm }	
			M10 高力ボルト (強度区分 12.9) ヘグザゴンソケット使用			
		ドリルモード	11 N・m { kgf・cm }			
		電子クラッチモード	クラッチ 5 段階 2.3 ～ 5.3 N・m { 23 ～ 54 kgf・cm }			
先 端		形 状	二面幅 6.35 ビット挿入形状			
モ ー		タ ー	直流モーター			
無 負 荷 回 転 数 [気温 20℃ 満充電時]		電子パルスモード	0 ～ 1,100 min ⁻¹ { 回 / 分 }			
		ボルトモード	0 ～ 640 min ⁻¹ { 回 / 分 }			
		テクスモード	0 ～ 1,100 min ⁻¹ { 回 / 分 }			
		ドリルモード	0 ～ 1,100 min ⁻¹ { 回 / 分 }			
		電子クラッチモード	0 ～ 450 min ⁻¹ { 回 / 分 }			
打 撃 数 [気温 20℃ 満充電時]		電子パルスモード	0 ～ 1,090 min ⁻¹ { 回 / 分 }			
		ボルトモード	0 ～ 700 min ⁻¹ { 回 / 分 }			
		テクスモード	0 ～ 1,090 min ⁻¹ { 回 / 分 }			
蓄 電		池	円筒密閉形リチウムイオン電池			
工 具 本 体 寸 法			162 mm × 250 mm × 31 mm (BSL 1460 装着時)		162 mm × 252 mm × 31 mm (BSL 1860 / BSL 36A18 装着時)	
質						

2. 充電器

形 名		UC 18YDL		
充 電 可 能 蓄 電 池		リチウムイオン電池 14.4 V (BSL14xxシリーズ)、18 V (BSL18xxシリーズ)、 マルチボルトタイプ蓄電池		
入 力 電 源		単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V		
蓄 電 池	充電電圧	14.4 V または 18 V		18 V
	タ イ プ	標 準	薄型軽量	マルチボルト
	充電時間※1 [気温20℃時]	BSL 1460 : 約 30 分 BSL 1860 : 約 30 分	BSL 1430C : 約 30 分 BSL 1830C : 約 30 分	BSL 36A18 : 約 25 分 BSL 36B18 : 約 40 分 BSL 36C18 : 約 15 分
		BSL 1450 : 約 25 分 BSL 1850 : 約 25 分	BSL 1425 : 約 25 分 BSL 1825 : 約 25 分	
		BSL 1440 : 約 20 分 BSL 1840 : 約 20 分	BSL 1420 : 約 20 分 BSL 1820 : 約 20 分	
		BSL 1430 : 約 15 分 BSL 1830 : 約 15 分	BSL 1415 : 約 15 分 BSL 1815 : 約 15 分	
USB端子	充電電流	12.0 A		12.0 A
	充電電圧	5 V		
コ ー ド	充電電流	2 A		
		2 心ビニールコード		
質 量		0.8 kg		
使 用 温 度 範 囲※2		- 10 ~ 40℃		
冷 却		対応 (ファン付き)		
ブ ザ ー 音		あり		

※ 1 : 蓄電池の充電時間は、使用環境や蓄電池の状態により長くなるときがあります。

※ 2 : 周囲温度が0℃未満のときは、充電時間が長くなります。

3. 蓄電池

形 名	BSL 1460	BSL 1860	BSL 36A18
種 類	円筒密閉形リチウムイオン電池		
電 池 電 圧	14.4 V	18 V	36 V / 18 V (自動切替 ^{※1})
容 量	6.0 Ah		2.5 Ah / 5.0 Ah (自動切替 ^{※1})
冷 却	対応		
使 用 可 能 コードレス製品	14.4 V 品	18 V 品	18 V 品 ^{※2} 36 V 品：マルチボルトタイプ 蓄電池対応製品
使 用 可 能 充 電 器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器		
残 量 表 示 ラ ン プ	－		緑色 LED

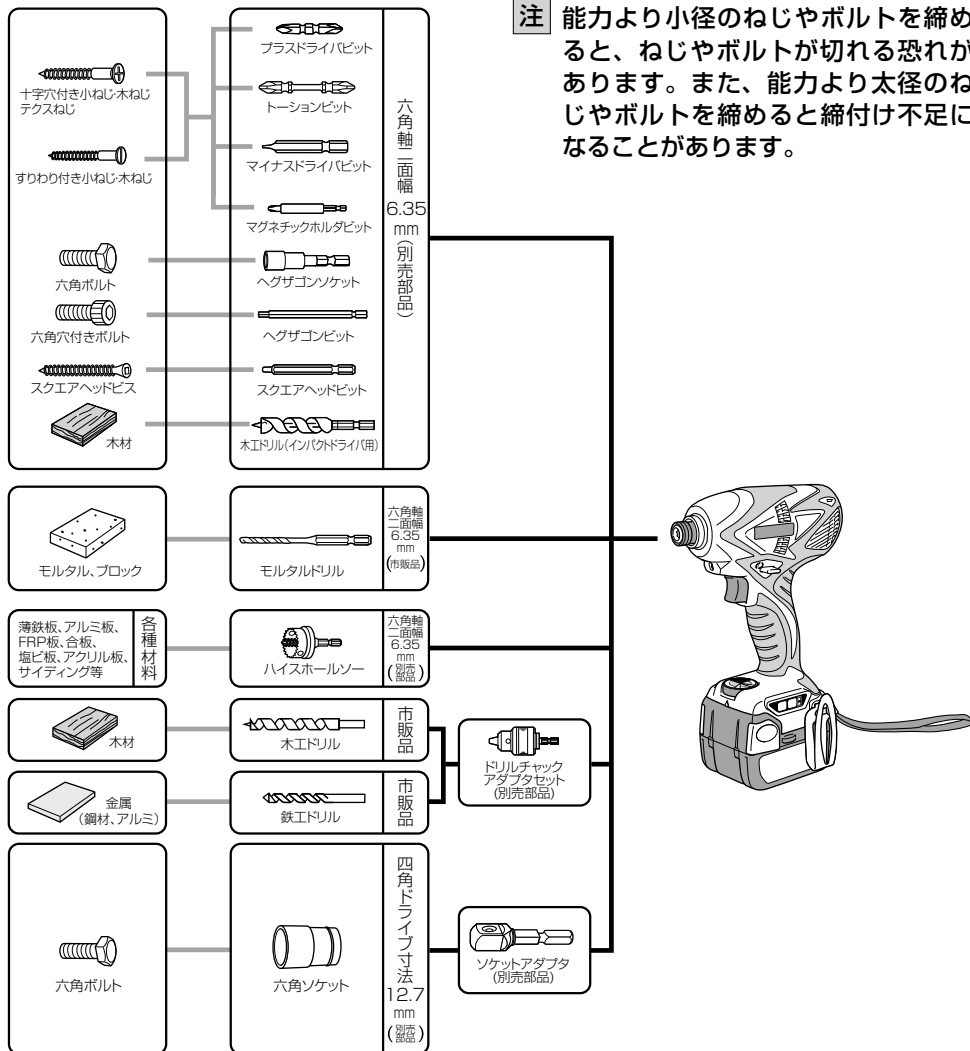
※1：工具本体により自動で切り替わります。

※2：詳細は弊社総合カタログなどで確認してください。

各種先端工具のご紹介

用途に応じた先端工具（アタッチメント）をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

注 能力より小径のねじやボルトを締めると、ねじやボルトが切れる恐れがあります。また、能力より太径のねじやボルトを締めると締付け不足になることがあります。



電池残量について

● 工具本体の電池残量表示について

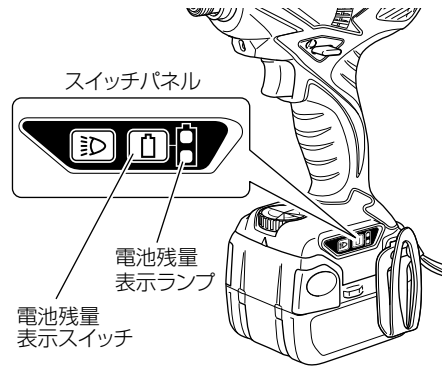
電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

ランプの 点灯状態	電 池 残 量
	十分電池残量があります。
	電池残量が約半分になっています。
	非常に少なくなっています。 早めに充電してください。

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。



- 注**
- 電池の消耗を少なくするため、電池残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。
 - ランプは蓄電池を工具本体に取付け、一度スイッチを引いた後でないと電池残量表示スイッチを押しても点灯しません。

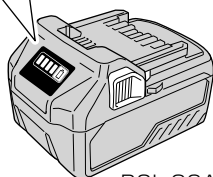
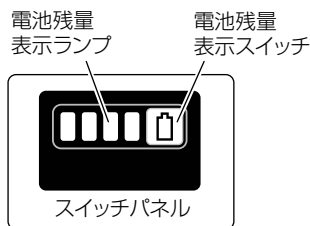
● 蓄電池の電池残量表示について（マルチボルトタイプのみ）

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチを押してから、約 3 秒後にランプは消灯します。

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので目安として見てください。

また、残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。



BSL 36A18

ランプの点灯状態		電池残量
	点灯	75% 以上
		50% ～ 75% 未満
		25% ～ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止 ^{※1}
		故障のため出力停止 ^{※2}

※1：蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2：蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

● 1 充電当たりの作業量について

工具本体の 1 充電当たりの作業量の目安を示します。（締付け本数は、木材の硬さ、使用環境、蓄電池特性などにより多少異なります。）

作業モード	作業内容	形名 蓄電池	WM 14DBL	WM 18DBL	
			BSL1460	BSL1860	BSL 36A18
電子パルスモード	木ねじ締付け $\phi 4.2 \times 75$	ラワン	約 460 本	約 560 本	約 470 本

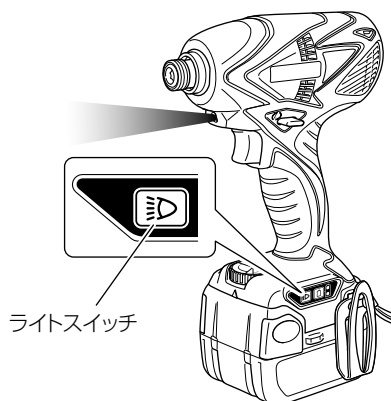
LED ライトの使い方

⚠ 注意

ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。

ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

スイッチパネルのライトスイッチを押すたびに LED ライトが点灯・消灯します。蓄電池の消耗防止のため、こまめに消灯してください。



- 注**
- LED ライト消し忘れによる電池の消耗を防止するため、約 15 分経過すると自動で消灯します。
 - LED ライトは蓄電池を工具本体に取付け、一度スイッチを引いた後でないとライトスイッチを押しても点灯しません。

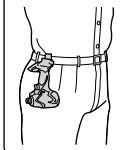
フックの使い方

フックは、作業の合間に腰ベルトなどに吊下げる機能を持っています。
左右に付け替えて使用することができます。

⚠ 警告

フックを使用するときは、
機体が落下しないように、
しっかりと掛けてください。

使用例

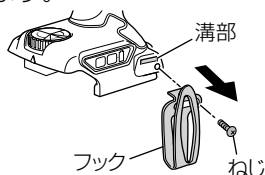


⚠ 注意

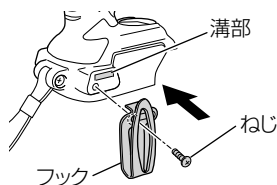
- フックを腰ベルトに掛けて機体を運ぶときは、先端工具を取りはずしてください。
- フックはしっかりと取付けてください。

1 フックをはずす

プラスドライバーを使用してねじをはずします。



2 付け替えてねじを締付ける



モード切替機能について

⚠ 警告

モード切替ダイヤルは必ず正しい位置（カチッと音がして止まる位置）に合わせて使用してください。

正しい位置以外で使用すると、予想しない動きによって材料やねじを傷めたり、けがの原因となります。

工具本体のモード切替ダイヤルを回して三角マークに合わせることで、作業モードの切替ができます。

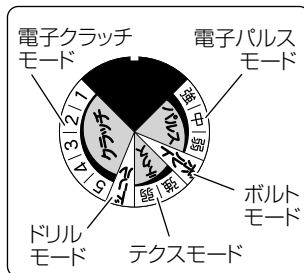
作業モードは、下表の 5 モードから選択できます。

- 注**
- ねじや締付け部材によって各モードで得られる締付けトルクが異なります。モード切替ダイヤルの設定は、ねじを数本試し締めし、調整してください。
 - ボルトの締付けは、ボルトモードで行ってください。

⚠ 注意

モード切替ダイヤルに強い衝撃を与えないでください。

モード切替ダイヤル



三角マーク

- 注**
- スイッチを入れたままモード切替ダイヤルを回してもモードの切替はできません。モードの切替はスイッチを切った状態で行ってください。

モード切替機能の設定例

作業モード		最大トルク	適応作業		注意事項
電子パルスモード	強	—	木ねじの 締付け	長さ 75 mm のねじの斜め締付けなど	ねじ径に合った ビット、ソケッ トをご使用くだ さい。 ドリルモード時 はモーターの回 転を停止させな いようご使用く ださい。
	中			長さ 50～75 mm のねじなどの締付け	
	弱			長さ 50 mm より短いねじなどの締付け	
ボルトモード		30 N・m ※ 1 33 N・m	ボルトの締付け		
テクスモード	強	—	テクスねじ (φ 5、φ 6) などの締付け		
	弱		テクスねじ (φ 3.5、φ 4) などの締付け※ 2		
ドリルモード		11 N・m	穴あけ		
電子クランチモード	5	5.3 N・m ↑ ↓ 2.3 N・m	} ※ 3 小ねじ (M6)、タッピンねじなどの締付け、 石膏ボードの貼付け		
	4				
	3				
	2				
	1				

※ 1 : WM 14DBL : 30 N・m、WM 18DBL : 33 N・m

※ 2 : 薄板にテクスねじを締付ける場合は、ねじ径にあった適正な板厚を確認してください。

※ 3 : 電子クラッチモードの 4、5 では負荷が大きくなると、ねじなめを起こしにくくするため、間欠的にごく短時間の逆転を行う場合があります。

電子パルスドライバの特徴

電子パルスドライバは、従来のインパクトドライバと異なり、モーターの正転と逆転を繰り返すことで打撃力を発生させています。

この機構によって、静かな打撃を実現しています。

従来のインパクトドライバと比較して、次のような特徴がありますが故障ではありません。

ねじの連続締付けを行うと高温になりやすい

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

締付けねじと相手材の条件によって、早期に打撃に移る場合があります。

打撃時は、モーターと電子部品の発熱が増加するため、機体の温度保護回路が早期に作動する場合があります。

温度保護回路が作動して停止した際の回復方法については、P.26の「締付け作業上のご注意」をご覧ください。

また、電子パルスドライバは、各モードに最適な動きとなるよう、常にモーターの回転を制御しています。

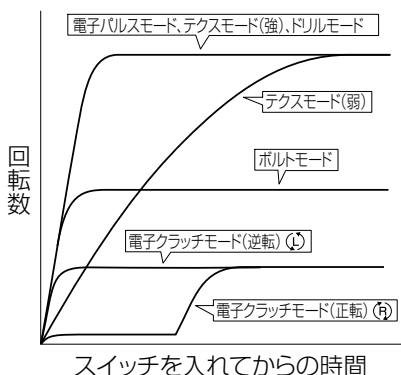
そのため次のような特徴があります。

各モードによって起動時の動きが異なる

テクスモード（弱）は徐々に加速します。

電子クラッチモード（正転）は起動後の一定時間はごく低速で回転し、その後加速します。

電子クラッチモード（逆転）は正転時と異なり、起動後すぐに設定回転数になります。



打撃状態から初期状態に戻らない場合がある

スイッチを引いたまま、ビット、ソケットをねじ、ボルトからはずした場合、打撃状態が続くことがあります。

スイッチを切って、次の作業を開始すれば初期状態に戻ります。

電池残量が少なくなってもモーターの回転数が低下しない

本機は定速度制御を採用しているため、電池残量が少なくなってもほとんど回転数が低下せず、電池容量一杯まで能率良く作業ができます。しかし、回転数の低下から電池残量の予測がつきにくいいため、作業の途中で電池残量が無くなり、突然停止する場合があります。

ときどき、電池残量表示スイッチを押して電池残量を確認してください。

ねじを締める / はずす

● 小ねじ・小径ボルトなどの
締付け、取りはずし

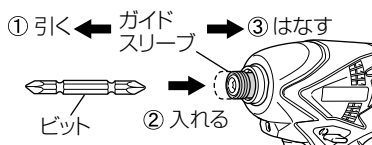
⚠ 警告

ビットの取付けや取りはずしの際、
万一の事故を防止するため、必ずスイ
ッチを切り、蓄電池を工具体から抜
いてください。

⚠ 注意

ねじ締め、ねじはずし直後のねじやビ
ット、ガイドスリーブは高温になって
いるので触れないでください。

1 ビットを取付ける



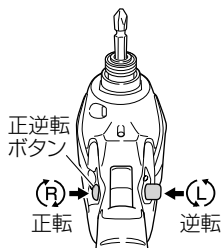
2 モード切替ダイヤルを合わせる

モード切替ダイヤル
を回して、機体の三
角マークに作業モ
ードを合わせます。
(P.19「モード切替機
能について」参照)



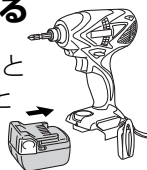
3 回転方向を合わせる

- 正逆転ボタンを押して、ねじの締め付け
(ゆるめ) 方向
に合わせます。
- 中間の位置で
はスイッチが
入りませんの
で、しっかり
押し込んでく
ださい。



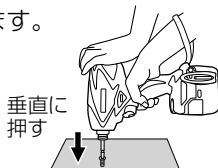
4 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と
音がするまで、しっかりと
押し込んでください。

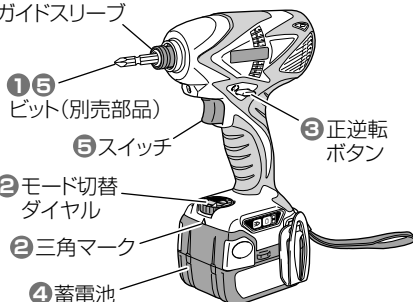


5 スイッチを入れる

- ビットの先をねじ頭部の溝に当て、
スイッチを引きます。
- ねじの頭から
ビットがはず
れないように
押付けます。



① ガイドスリーブ



- 注**
- 正逆転ボタンの切替えは、必ずスイ
ッチを切ってから行ってください。
 - スイッチの引込み量がわずかなと
き、「ピー」という音が発生しますが、
機体の異常ではありません。

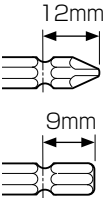
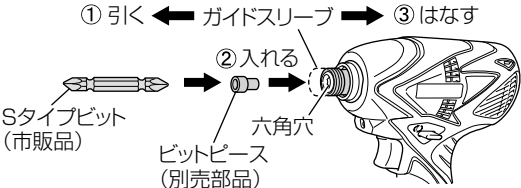
●ねじ締め作業のコツ

- 締付材に対してねじとビットが垂直になるように、機体を保持してください。
- 機体後方から適度な荷重をかけながらねじ締め（または緩め）作業を行ってください。負荷の大きなねじの場合は、両手で確実に機体を保持すると、ねじの頭を傷めずに行えます。
- ねじ頭部の十字穴に合ったビットを使用してください。
特にテクスねじを締付ける場合は、ビットが合っていないと、ねじが倒れやすくなるので注意してください。
- 下穴をあけずに、直接木材に木ねじを締めるときは、スイッチをごく短時間だけ入れて、木ねじの先端を木材に食い込ませてから締付けると、ねじがぐらつかずスムーズな作業ができます。
- ねじの径より少し細いドリルで下穴をあけておくとも木材に割れが入ったりせず、作業がらくにできます。下表を参考にしてください。

木ねじ呼び径 (mm)	3.1	3.5	3.8	4.1	4.5	4.8	5.1	5.5
下穴径 (mm)	2.0	2.2	2.5	2.9	3.3	3.6	3.9	4.3
	2.2	2.5	2.8	3.2	3.6	3.9	4.2	4.6

●S タイプビットの取付け方

弊社指定のビットのサイズはL タイプです。S タイプのビットを取付ける場合はビットピース（別売部品）が必要です。下表の手順で確実に取付けてください。

S タイプのビットのサイズ	ビットの取付け方
	 ① 引く ← ガイドスリーブ → ③ はなす Sタイプビット (市販品) ビットピース (別売部品) 六角穴 ガイドスリーブを先端側に引いて、ビットピース、ビットの順で六角穴にさし込み、ガイドスリーブをはなします。

- 注**
- ビットを取付け、ガイドスリーブが元の位置に戻らないときは、取付けが不確実です。ビットが六角穴の奥に突き当たるまで入れてください。
 - ビットピースを取付けずにSタイプのビットを使用すると、作業中にビットが抜けたり、取りはずせなくなることがあります。

穴をあける

- 鉄工ドリルで金属の穴あけ
- 木工ドリルで木材の穴あけ

⚠ 警告

ドリルの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体体から抜いてください。

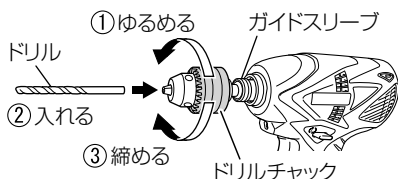
⚠ 注意

穴あけ直後のドリルや切粉は高温になっているので触れないでください。

1

ドリルを取付ける

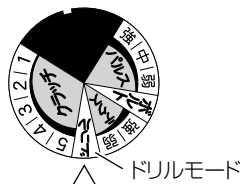
- 六角軸タイプのドリルは、そのまま取付けできます。
- 六角軸タイプでないドリルの取付けには、別売のドリルチャックアダプタセットが必要です。
- 木ねじの下穴や 10 mm 以下の穴には鉄工ドリルをご使用ください。



2

モード切替ダイヤルを合わせる

モード切替ダイヤルを回して、機体の三角マークに「ドリル」モードを合わせます。

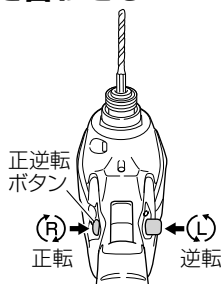


(P.19「モード切替機能について」参照)

3

回転方向を合わせる

- 正逆転ボタンを (R) 正転側から押します。
- 中間の位置ではスイッチが入りませんので、しっかり押し込んでください。



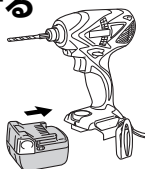
注 「ドリル」モードでご使用の際、モーターがロックして回転が停止する場合がありますが、数秒間停止を続けないようにお使いください。

モーターやスイッチの故障および蓄電池の寿命を著しく短くする原因となります。

4

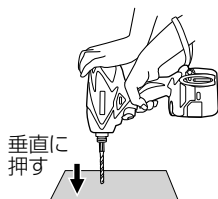
蓄電池を取付ける

右図の向きで、
「カチッ」と音が
するまで、しっかりと
押し込んでください。



5

スイッチを入れる



垂直に
押す

(P.25「木材にきれいな穴をあける」
「金属へ上手に穴をあける」
「モルタルなどへの穴あけ」参照)

6

材料からドリルを抜く

スイッチを入れたまま(回転したまま)、ドリルを引き抜いてください。
または、いったんスイッチを切り、正逆転ボタンを逆回転(⤵)側から押して再度スイッチを入れて引き抜いてください。

① ガイドスリーブ

① ⑥
ドリル(別売部品)

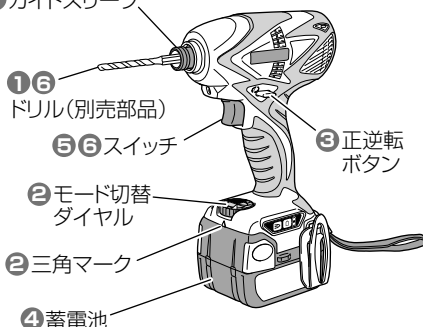
⑤ ⑥ スイッチ

② モード切替
ダイヤル

② 三角マーク

④ 蓄電池

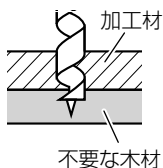
③ 正逆転
ボタン



●木材にきれいな穴をあける

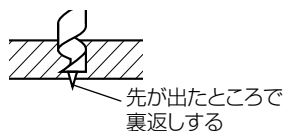
不用な木材を下に敷き、 加工材と一緒にあける

木工ドリルが裏側へ
突きぬけるときに発
生するバリを防ぐこ
とができます。



または

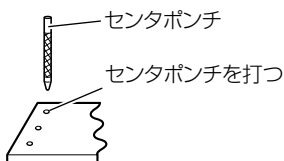
木工ドリルの先が少し裏側に出 たときに、裏側から穴をあける。



●金属へ上手に穴をあける

市販のセンタポンチを使用する

鉄工ドリルの先がすべらず、
決まった位置に穴あけができます。



さらに

鉄工ドリルの先に機械油か 石けん水を付ける

穴があけやすくなります。

注

金属に穴をあける場合、穴の抜けぎわ
に大きな力がかかり、ドリルがドリル
チャックからずぶることがあります。
このような場合は、機体の押付け力
を弱め、ドリルがすべらないように
してください。

●モルタルなどへの穴あけ

- 必要以上に力を加えても決して早く穴はあきません。かえってドリルの先を傷めて作業能率が低下するだけでなく、機体の寿命も短くなります。
- 機体は 10 ～ 20 kg 程度の押付け力 (推力) でご使用ください。

締付け作業上のご注意

●連続作業について

打撃を連続して行くと、早期に温度保護回路が作動する場合があります。(P.20「電子パルスドライバの特徴」参照)

温度保護回路が作動して停止すると、LED ライトが点滅して機体が高温になっていることをお知らせします。LED ライトは約 30 秒後、自動的に消灯します。

連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に機体を 15 分程度休ませてからご使用ください。

- 注**
- 温度保護回路が作動して自動停止したときは、機体を十分に冷却してください。温度が下がれば再び使用することができます。
 - 機体が十分に冷却されていない状態でスイッチを入れても起動しません。スイッチを入れている間、LED ライトが点滅します。機体が十分に冷却されるまでお待ちください。
 - 連続運転中は機体の先端付近が熱くなるので、手を触れないでください。

●変速スイッチについて

スイッチには回転数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。従ってスイッチの引込み量が少ない状態(低速回転域)でモーターを停止させるねじ締め作業を連続に行うと電子回路部品の温度が高くなり、故障の原因になります。

●機体の保持と押しつけ力について

機体は両手で確実に保持してください。機体を保持した際には、ねじやボルトに対して機体がまっすぐになるようにしてください。また、機体を必要以上に押しつける必要はありません。

機体をこじる力や押しつける力が過度にかかると、機体の故障の原因になりますのでご注意ください。

蓄電池を充電する

ご使用前、新品時、長期間で使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

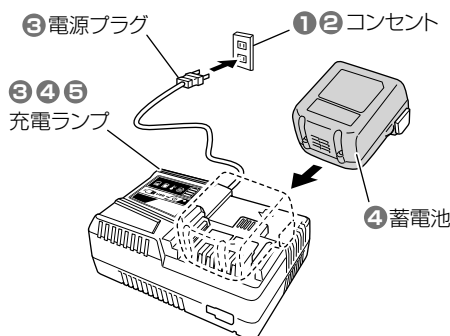
⚠ 警告

手順 ①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

充電時間

BSL 1860/1460	: 約 30 分
BSL 36A18	: 約 25 分

注 充電時間は使用環境や蓄電池の状態により長くなることがあります。



1

電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。
200 V 電源や直流電源、昇圧器などの
トランス類を使用しないでください。

2

コンセントを確認する

コンセントがガタついていたり、電源
プラグが抜け落ちてしまうときは、
接続しないでください。
そのまま使用すると危険です。

3

電源プラグを コンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P.28「充電ランプの表示について」参照)

4

蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまで
さし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青
に連続点灯して、充電開始をお知らせ
します。
- 充電中は電池容量ランプで、充電容
量を表示します。

5

充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑
に連続点灯し、ブザーが「ピー」と
6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、
充電器から蓄電池を抜き取ってくだ
さい。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついています。
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点灯	連続点灯 	
	充電完了	緑点灯	連続点灯  (連続ブザー音: 約 6 秒)	
	高温待機	赤点滅	0.3 秒点灯 / 0.3 秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	充電不可	紫の速い点滅	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯  (断続ブザー音: 約 2 秒)	充電器または蓄電池の端子部に異物が入っている

注 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

●電池容量ランプについて

電池容量ランプによって、充電中の電池の充電容量を確認することができます。
ランプの表示と電池容量は以下のようになっています。



ランプの表示					
	点滅	点滅	点滅	点滅	点灯
電池容量	25% 未満	50% 未満	75% 未満	75% 以上	充電完了

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

注 充電完了後、しばらくすると電池容量ランプは消灯します。

USB 機器を充電する

●USB 機器の充電

⚠警告

- 使用前に、接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。
損傷した USB ケーブルを使用しますと、発煙・発火の原因になります。
- 使用しないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。
USB 端子にほこり等が付着すると、発煙・発火の原因になります。

充電器 UC18YDL には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

弊社のリチウムイオン電池から携帯電話などの USB 機器を充電することができます。

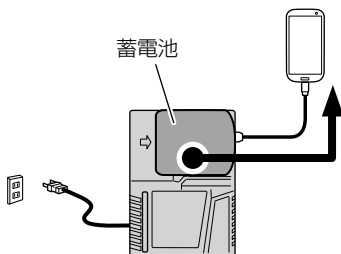
- 注**
- USB 機器と蓄電池の充電を同時に行うと、充電時間が長くなります。
 - USB 機器の充電が途中一時停止する場合があります。
(P.31「充電器使用上のご注意」参照)
 - USB 機器を充電しないときは、USB 電源スイッチを OFF にして、USB 機器を充電器から取りはずしてください。
USB 機器の蓄電池寿命（充電回数）を縮めたり、思わぬ事故の原因になります。
 - USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。

1

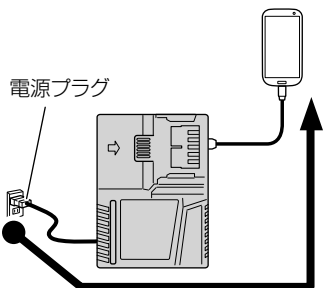
充電方法を選択する

充電方法に応じて、蓄電池を充電器にさし込むか、電源プラグをコンセントにさし込みます。

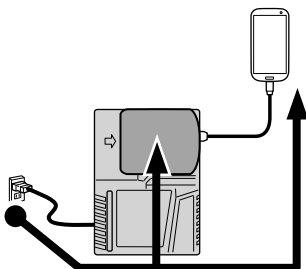
蓄電池から USB 機器を充電



100V コンセントから USB 機器を充電



100V コンセントから蓄電池と USB 機器を同時に充電



2

USB 電源スイッチを ON にする

USB 電源スイッチを ON にすると、USB 電源ランプが点灯します。

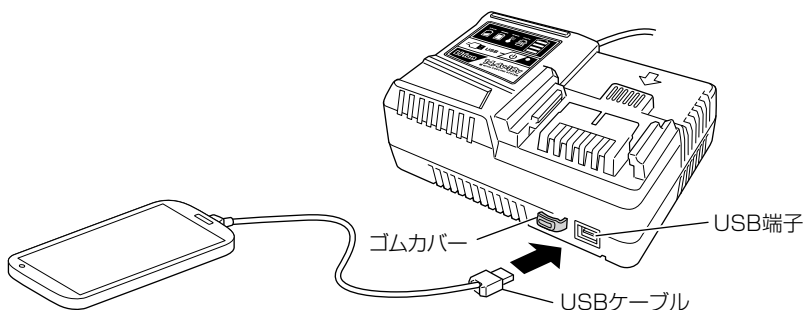


USB電源スイッチ
USB電源ランプ

3

USB ケーブルを接続する

ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



- 電源プラグをコンセントにさし込んでいない場合、蓄電池の容量がなくなると、USB 電源ランプが消灯して出力が停止します。
- USB 電源ランプが消灯したときは、電源プラグをコンセントにさし込むか、蓄電池を交換してください。

4

充電が終わったら

- USB 機器の充電が終わっても、USB 電源ランプは消えません。充電状態は USB 機器で確認してください。
- USB 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 充電器から蓄電池を抜き取り、USB 端子にゴムカバーを被せてください。

充電器使用上のご注意

状 況	原 因	対 策
充電ランプが紫の速い点滅を繰り返し、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池の取付部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取り除いてください。
充電ランプが赤く点滅して、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池が高温になっている	そのままの状態でも、蓄電池の温度が下がると自動的に充電を開始しますが、蓄電池の寿命を縮める原因になります。蓄電池を風通しの良い日かげなどで冷ましてから、充電することをおすすめします。
満充電をしても、蓄電池の使用時間が短い	蓄電池の寿命が尽きた	蓄電池を新品と交換してください。
蓄電池の充電時間が長い	蓄電池や充電器の温度、周囲気温などが極端に低い	室内など暖かい場所で充電してください。
	充電器の風窓がふさがった状態になっているため、充電器内部が高温になっている	風窓がふさがっていないようにしてください。
	冷却ファンが回っていない	販売店に修理を依頼してください。
USB 電源ランプが消灯して、USB 機器の充電が停止した	蓄電池の電池残量が少なくなった	電池残量がある、蓄電池と交換してください。
		充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んでください。
USB 機器の充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	USB 電源ランプは、USB 機器の充電ができる状態にあることを緑色の点灯で表示している	故障ではありません。
USB 機器の充電状態や充電完了がわからない	USB 電源ランプは、充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	充電中の USB 機器で確認してください。
USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池を供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んだ	故障ではありません。 充電器が供給元電源を判別するため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
	100 V コンセントを供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器に蓄電池をにさし込んだ	
蓄電池と USB 機器を同時に充電中、USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池が満充電となった	故障ではありません。 蓄電池が正常に充電完了したことをチェックしているため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
蓄電池と USB 機器を同時に充電する際、USB 機器の充電が開始しない	蓄電池の電池残量が極端に少ない	故障ではありません。 蓄電池の電池残量があるレベルに達すると、自動的に USB 機器の充電を開始します。

保守・点検

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体から抜いてください。
また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●ドリル・ビットの点検

先端部が摩耗したり折損したドリルを使用すると、モーターに無理をかけ、能率が落ちたりねじ頭を傷めますので新品と交換してください。

●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.9「各部の名称」参照）に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●端子部（工具体、蓄電池）の点検

⚠ 注意

端子部に切りくず、ほこりがたまっている場合は、取り除いてください。
そのまま使用すると、故障の原因になります。

端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●機体の点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が 100 Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

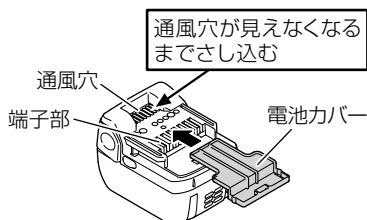


● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具体体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



注 リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3 か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を 2 ～ 5 回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00 ~ 17:00	
●フリーダイヤル  0120-20-8822	※携帯電話からはご利用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待ちする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 786-5122	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 6738-0872	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認い
ただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>